

つながり

麻生田小だより No. 2
令和5年5月1日
文責 校長：阪本 雅弘



麻生田小キャラクター
「アッサニー」

【教育指針】礼・学・体

【校訓】かしこく 強く 美しく

【教育目標】いつまでも続く未来を創るために、自ら考動する子どもの育成

【学校経営スローガン】「子ども一人一人が輝き、笑顔があふれ、毎日来たくなる学校」

麻生田 ESD（持続可能な開発のための教育）

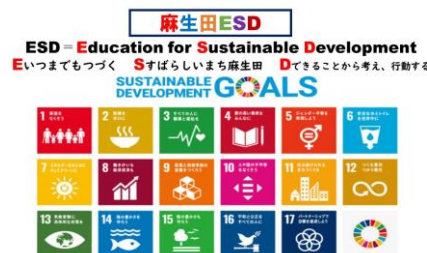
5月になり、新緑の季節になってきました。昨年度に引き続き ESD（持続可能な開発のための教育）に取り組み、英語教育にも力を入れていきます。今年度、本校は ESD 研究モデル校及び全国小学校英語教育研究実践校となっており、令和6年2月2日（金）の午後、全国大会の会場校として英語の公開授業を行います。

子どもたちのコミュニケーション力、表現力の向上を目指していきます。「ESD」という言葉は、「何のこと？」という感じだと思います。「持続可能な開発のための教育」と聞いても何のことかピンときません。子どもたちからすればなおさらのことです。そこで、今年度は、子どもたちにも保護者の方、地域の方にもわかりやすく伝えるようにと「麻生田 ESD」として ESD の意味を表現するキャッチフレーズを取り入れました。

「E=いつまでもつづく S=すばらしいまち麻生田 D=できることから考え、行動する」

文部科学省は ESD を『持続可能な社会づくりの担い手を育む教育』とも表現しており、人格の発達や自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、『関わり』『つながり』を尊重できる個人を育むこと、これらの2点が重要と言っています。

国連が掲げる「SDGs(持続可能な開発目標)」は、将来にわたって世界中の人々が豊かに暮らしていくために、達成すべき17の目標から成ります。世界には、地球温暖化、資源の枯渇、環境破壊、貧富の差、ジェンダーなどの人権にまつわる問題など、世界中の人が安心して暮らしていくために解決しなければならないさまざまな課題があります。まずは、社会にある課題を知ることが最も大切です。ESD 教育では、広い視野で世界にはどのような問題があるのかを知り、身近な取り組みから始めることで、自らの問題として行動に移すことを目指しています。こうした学びや活動から、持続可能な社会を実現する担い手を育てていくというのが ESD 教育の大きな目的です。本校では、授業やさまざま行事等を関連付け、麻生田の地域とのつながりを大切にしながら、将来の麻生田を担う子ども、自ら考動する子どもたちを育てていきます。



<5月の主な行事予定>

- 1日(月)視力検査(1年)
- 2日(月)全校朝会・代表委員会・愛校作業
- 8日(月)聴力検査(5年・なのはな)
- 9日(火)結団式・委員会活動・聴力(3年)
- 10日(水)聴力検査(2年)
- 12日(金)聴力検診(1年)
- 16日(火)歯科検診(1・3・5年)
- 18日(木)心電図(1・4年)
- 23日(火)委員会活動(運動会係打ち合わせ)
- 24日(水)振替休業日(27日運動会のため)
- 26日(金)一次検尿・運動会準備
- 27日(土)運動会 8:20~11:30(予定)
- 29日(月)集団下校訓練
- 30日(火)プール掃除(5年)
- 31日(水)内科検診・プール掃除(6年)



盛り上がった1年生を迎える会

4月27日(木)今年、全学年の児童が体育館に集まり、各学年、歌やダンスを披露してくれました。6年生が「ジャンボリミッキー」のダンスを披露してくれた時は、次第に子どもたちの体が動き出し、最後は全員が一体となって踊り、大変盛り上がりました。1年生のみんなに笑顔があふれ、とても楽しいひとときでした。改めて、学校全体で集まって楽しめる時間の大切さを感じました。



4月28日(金)授業参観、学級懇談会及びPTA総会への多数のご参加ありがとうございました。家庭訪問も大変お世話になりました。